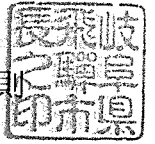


飛 管 第 5 8 8 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

飛驒市長 井 上 久 則



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました表記の件につきまして、別紙のとおり提出しますのでよろしくお願い致します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①
岐阜県飛騨市

- 1, 地方の確実な道路整備を進めるための道路整備予算の確保
道路特定財源が一般財源化されるにあたり、道路特定財源は利用者負担の原則により徴収され、道路整備に充てられものであることの原則に従い、確実な地方の道路整備及び維持管理に充てられるよう道路関係予算の確保を図られたい。
- 2, 真に必要な道路整備意見の政策への反映
地方の道路整備は未だ不十分であり、道路政策へ地方の意見を十分に反映できる体制の構築と、積極的な情報発信を図られたい。
- 3, 地域高規格道路の整備促進
地域高規格道路は、未だ道路整備の不十分な地域において計画されており、高速交通時代の恩恵を受けられずにいる地域が多く、過疎からの脱却、都市と農村との格差解消に向けた有効な道路整備であることから、地域高規格道路の整備促進を協力を図られたい。
【対象路線 地域高規格道路富山高山連絡道路】
- 4, 雨量規制等異常気象における交通規制区間の解消
国道41号を始めとする山間地域における幹線道路は、雨量規制や冬期の雪崩による交通規制が頻繁に発生し、物流や地域住民の通学、通勤を始めとする地域生活に多大の支障を及ぼしている。
飛騨市内における雨量規制区間は、国道41号で11.8km、国道360号で8.0kmであり、安全安心な道路整備は喫緊の課題であることから、早期の道路整備を図られたい。
【対象路線 国道41号、国道360号】
- 5, 高速自動車道と地域連携強化を図るアクセス道路整備
飛騨市においては高速自動車道（東海北陸自動車道・中部縦貫自動車道）のインターチェンジが無いため、高速自動車道利用による他都市との連携強化を容易に図ることができない。そのため、高速自動車道へのアクセス道路整備は地域間格差解消に向けた重要課題であるため、高速自動車道へのアクセス道路整備を重点施策として実施されたい。
【対象路線 主要地方道古川・清見線】
- 6, 県管理国道の整備における財源の確保
県が管理する国道の整備において、近年の地方財政悪化によりその整備進捗が鈍化するなど、地域活性化の足かせとなってきた。そのため、県管理国道の整備について国の財政措置の拡充を図り、安定した道路整備財源の確保を図られたい。
【対象路線 国道360号、国道471号】

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①
岐阜県飛騨市

7, 冬期における安全通行の確保

飛騨市は豪雪地域であることから、冬期における交通確保は地域住民生活の根幹をなす重要な問題である。

除雪作業による交通確保はなされているが、峠道路などの坂道においては大型車のタイヤチェーン未装着等により、頻繁に立ち往生が発生し、通勤通学は元より物流においても多大の損失をもたらしている。

このようなことから、登坂車線整備や消融雪設備の設置による車線の冬期確保を図られたい。

【対象路線 国道41号数河峠】

8, バリアフリー化、無電柱化の整備促進と財政措置

飛騨市のような地方中心市街地においては、バリアフリー化や無電柱化が遅れており、中心市街地における観光振興に支障をきたしている。

中心市街地における観光客の動線はその地域によって特色があり、安全な歩行空間の確保による観光客誘致は、地域観光産業の活性化を図る上で欠かせないものである。また、良質な景観を保全し創出を図る上で無電柱化整備は欠かせない事業であることから、無電柱化事業の拡充と地方への財政支援を図られたい。

【対象地域 飛騨市古川町市街地】

6, 地方道路における道路維持財源の確保

市町村が管理する道路は、国道や県道など幹線道路を補完し、地域住民生活に密着した道路であり、その道路維持管理についても多額の費用を要している。地方交付税等の財源措置だけでは十分な維持管理ができていない現状である。

今後、橋梁の長寿命化を始めとする道路の適切な維持管理を進めていく上でも、地方が行う道路維持管理費について、安定した財源措置を図られたい。

○現状

- 1, 過疎化の進行と生活圏域の確保
当市は平成16年に4町村が合併し今日に至っているが、合併当初から過疎指定を受け現在も過疎化を食い止めることはできず、さらに過疎化が進行している現状である。過疎化の進行により、山間地域の戸数も減少し限界集落が増えてきており、医療を始めとする日常生活においても生活が脅かされる状態となっている。
- 2, 高速交通時代への対応
高速交通時代が飛騨地域へも進んできているが、当市には高速自動車道のインターチェンジは設置されていないため、近隣市のインターチェンジを利用する他なく、高速自動車道を利用した地域活性化の対応が求められている。
- 3, 地域生活基盤の確立
過疎化の進行する当市にとって、観光産業は重要な産業であるが、地域に根ざした観光産業を育成するとともに、地域住民の生活基盤を確立させ、地域活性化を図ることが求められている。

○課題

- 1, 当市にとって国道41号、国道360号、国道471号は主要な幹線道路であるとともに、沿線住民にとっては生活を支える唯一の生活道路でもある。
これらの幹線道路の整備は過疎化の進む地域にとって、安全安心な生活を確保する上で欠かせないものであり、特に雨量規制や冬の雪崩規制等による通行規制は、通勤通学や通院などの日常生活に大きな支障を与えており、過疎化に拍車を掛ける大きな要因となっており、山間地域の生活圏を確保する上で、一日も早いこれらの解消が課題である。
- 2, 現在計画されている地域高規格道路富山高山連絡道路は当市を通過する計画となっており、高速交通時代に即した地域活性化を進める上で重要な整備計画であることから、早期の事業化が課題である。また、他市に設置してあるインターチェンジの利用促進を図り、観光客の誘致や物流の確保による企業誘致等を進める上で、アクセス道路の整備は喫緊の課題であり、国道360号、主要地方道古川清見線の早期道路整備促進は重要な課題である。
- 3, 山間地域に位置し、独自の文化を育んできている当市にとって、地域文化を活用した観光産業の発展は重要な課題である。国内はもとより海外からの観光客誘致を進める上でも、幹線道路の整備は重要課題である。
また、地域生活道が観光拠点となっていることから、地域生活道路のバリアフリー化、無電柱化、案内サインの国際化等を推進し、地域住民の生活基盤の確立を図ることが課題である。

1, 地域を結ぶ道路ネットワーク整備

少子高齢化社会を迎え、中山間地域における過疎化の著しい地域においては今後益々地域間の連携協力が不可欠であり、農地の荒廃や山林荒廃を防ぎ国土保全、環境保全に資するためにも、中山間地域全体の荒廃を防止する必要があります。そのためにも地域を結び中山間地域の生活を保全する道路ネットワークの整備は重要な施策であり、特に国道や県道による地域間道路ネットワークの構築は不可欠です。

都市間ネットワークの整備とともに、地方における安全安心な道路ネットワークの整備により、そこに生活する住民の生活を守り、利便性を確保することが、中山間地域の荒廃を防止する有効な手段であると考えます。

中山間地域における道路ネットワークの構想を早急に策定し、確実に整備を進めることにより、中山間地域に生活する住民にとって将来展望が描けるものであると考えます。

2, 交流人口の増大に資する道路整備

過疎化の進展が著しい当地域にとって、交流人口の増大は地域活性化に欠かせないものであり、地域資源を最大限に活用した魅力ある地域づくりが重要となっています。

高速交通時代を迎えた今、高速道路を活かした交流人口の拡大に大きな期待をしているところであり、交流人口の増大に資する道路整備が急務であると考えます。

交流人口の増大による賑やかさの創出は、過疎地域である当市にとって重要な施策であり、若者の流出を防ぐとともに、新たな雇用の創出による定住人口の維持に大きな役割を果たすものと考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④
岐阜県飛騨市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
雨量規制、雪崩規制による通行規制の解消	飛騨市神岡町地内国道41号 飛騨市宮川町地内国道360号	通勤、通学及び物流の確保が安定的に図れることにより、生活基盤の確立が達成できる。	
地域高規格道路の整備	地域高規格道路富山高山連絡道路	都市間連絡道路として、飛騨市中心部と他都市との連携強化が図られることになり、観光交流、経済交流の拡大が期待できる。	
高速自動車道インターチェンジへのアクセス道路整備	国道360号 主要地方道古川清見線	高速交通ネットワークへのアクセス道路の整備による目的地までの時間短縮により、観光産業、経済産業等の地域経済活動に大きな効果が期待できる。	
地域生活道路としての道路整備	国道360号 国道471号 主要地方道古川清見線 主用地方道神岡河合線	幹線道路であるばかりでなく、地域の生活道路として重要な路線であり、過疎地域唯一の生活道路でもあることから、安全安心な日常生活の確保、緊急医療時の早期対応等により、過疎地域の安全安心確保を行い、定住促進を図ることにより農地、山林の荒廃を防ぎ、国土保全及び環境保護が期待できる。	
無電柱化の促進と助成措置の拡大	飛騨市古川町市街地	重要な観光拠点である古川町市街地は、趣のあるたたずまいを誇る住宅市街地であるが、市街地道路は昔ながらの狭小な幅員の道路のままとなっており、電柱は歩行者の通行に支障をきたしているほか、良好な景観を阻害している。このため無電柱化により歩行者の安全確保と景観保全が図られる。	

地方の踏切改良促進のための制度改革	飛騨市 J R 高山線	また、無電柱化の実施にあたっては多額の費用を必要とすることから、地方の自治体では費用負担が重くのしかかることとなることから、助成措置の拡大をお願いしたい。 公共交通機関である鉄道は地方にとって重要な交通手段であるが、市道における踏切改良は遅々として進まない状況にある。地方にとっては立体交差も難しく、平面交差による交通の確保が求められている。鉄道事業者からは踏切改良に伴い、他の踏切の廃止等を求められることから、踏切の拡幅改良は進まないのが現状である。そのため、地域内においては鉄道により地域が分断されたような状況になり、地域活動はもとより過疎化の原因の一つにもなっている。このため、地方において踏切拡幅改良整備が進められるような制度への転換をお願いしたい。それにより、地域活動の活性化や地域住民の連帯感の向上につながり、定住促進に大いに役立つものと期待している。	
--------------------------	--------------------	--	--